



第55号 Forward

編集責任者
 沖縄尚学高校
 PTA文化教養部
 那覇市国場747
 ☎ 832-1767
 FAX 834-2037
 発行 (株)尚生堂
 令和元年9月24日

暖かみ・厳しさ・知性 沖縄尚学高等学校PTA新聞 感謝と奉仕
 E-mail query@okisho.ed.jp HPURL http://www.okisho.ed.jp

理事長に聞く我が校の歩み



名城 政次郎
 理事長・高校校長

第一話「発足前夜」

沖縄尚学高校の前身、沖縄高校の一九六〇年の運動会の八ミリフィルムがインターネット上で見られることをご存じですか。(沖縄アーカイブ研究所)場所は今とまったく同じ国場の丘、周囲は畑で生徒や家族の服装に時代を感じます。戦後十五年目にあたり、その頃の生徒は沖縄戦の頃、〇歳から三歳の乳幼児です。親が必死の思いで戦場となった沖縄で生き残り、育てた命が躍動している姿があります。この映像が撮影された頃の沖縄にはまだ公立高校が十分にはなく、沖縄高校には中学を卒業した生徒の進学先としての役割があり、時代の要請に役立っていました。しかし、一九七二年本土復帰を境に公立高校が増設されると、既存の私立高校はそのありを受け継ぐことになりました。現に沖縄市にあった中央高校は入学者激減による経営破綻をきたし、一九八四年廃校になってしまいました。因みに、中央高校の職員は県が採用試験を受けさせました。公立校に配属し、救済したという歴史があります。

その当時の沖縄高校も中央高校と同様に入学を希望する者が漸次減少し、一九八〇年頃とうとう廃校がほぼ決まりとなりました。十年間職員の給与は上がらず、ボーナスはなく、校舎も老朽化・危険物化し、多額の負債も抱えていたそうです。そういって逼迫した大状況にある沖縄高校を救ってほしいという要請が名城政次郎氏に何度もあり、受諾すれば経営する「尚学院」まで共倒れするのではないかと、職員全員が危惧し反対したという。しかし、名城氏は熟慮の結果、廃校寸前の沖縄高校に救いの手を差し伸べるといふ結論に達したのです。

一九八三年に「たくましい進学校」として沖縄高校を新しく沖縄尚学高校として発足することが、両日刊新聞で発表されました。募集を開始すると、応募者が殺到。初年度にして三〇二名という新入生を迎えたという事は、沖縄県の代表的予備校である「尚学院」の信用と実績のお陰であるといつても過言ではありません。つまり、沖縄尚学高校は「尚学院」が無ければ誕生し得なかつたという事になります。

↓次号第五十六号へ続く



開き手
 外間政一郎
 (2の3保護者) 尚学院在籍
 (S58～S61尚学院内科)

活躍するOB No.5 母校は、ありがたい



沖尚一期生
 上原 真人

昭和五十八年四月、できたばかりの沖縄尚学高校の古い門をくぐり、十五歳の、小さなハートの田舎者の高校生活が始まりました。田舎者の名の通り、「劣等感の塊」が校内をうろついているというのが最初の数日間です。何食わぬ顔をしています。毎日必死に勉強していました。

仲間にも恵まれ、指導者に恵まれ、徐々に緊張もほぐれ、通学が楽しい毎日になりました。三年間、「よく学びよく遊べ」を地でいくような高校生活。そして医学部に合格。無事医師になれましたが、道中は試練の連続でした。幾度となく挫折しそうになりましたが何とか乗り越えてきました。試験の時、心の中に浮かぶのは同級生の仲間達の顔。たった三年間の共同生活でしたが生の友を得た気がします。大人になっても「アイツが頑張っているから俺も頑張ろう」と何度思ったことか。五十二歳になった今でも、何年か会っていない心にも浮かぶ顔がいくつもあります。

人生百年時代とはいくつもの、さすがに半分が過ぎました。ふと思いつくのは、今は亡き恩師の言葉。「自分の考えを自分の言葉で書け！」が口癖だった恩師は、事あるごとに私たちにその言葉を説きました。私は深い意味に考えがおよばず、それが入試国語の正解率アップに繋がると単純に考えていただけでした。あれから三十数年、仕事上責任ある立場になり、一緒に働くチームを強くしていくためには自分の言葉で伝えよう、と改めて実感しています。現役沖尚生の皆さん、父母や先生、先輩、様々な人々からアドバイスを受けていることでしょうか。それらをみんなひくるめてミキサーにかけ、最終的に自分の言葉で頭の中の引き出しを整理すること。それが皆さんの入試にも就職にも人生にも、いつか役に立つはずです。

令和元年も甲子園に出場してくれました。母校の空気が仲間の顔をまた思い出しました。その感覚はどの高校も同じだろうけど、その機会を多く与えてくれる沖縄尚学高校はありがたい。

略歴

- 昭和四十二年五月生まれ
- 中学校まで沖縄県読谷村でウミンチュ(海人)として過ごす
- 一九八三年四月沖縄尚学高等学校入学
- 一九八六年三月沖縄尚学高等学校卒業
- 一九九五年三月琉球大学医学部医学科卒業
- 一九九五年五月琉球大学医学部麻酔科学教室入局
- その後沖縄県立宮古病院、沖縄赤十字病院、小倉記念病院、浦添総合病院などに勤務
- 二〇〇一年十一月現職の沖縄県立八重山病院勤務
- 二〇〇二年四月「八重山病院データでムヌカンゲー」を連載スタート
- 本職は麻酔科医師。日本麻酔科学会専門医・指導医、
- 日本集中治療学会、日本蘇生学会、日本ペインクリニック学会、等所属
- 趣味は読書、笑いの研究、DMAT隊員
- 座右の銘は「幸せはいつも自分の心が決める(あいだみつお)」

「親業」とは？

「子供」をいかにサポートするか



高校副校長 一郎
 副教育 名城
 博士 名城

高校PTA文化教養部から「親の在り方」というテーマをいただきました。「親になるための教育」は教育者としての私の二十年来のテーマであり、私の三十四年の教育体験と研究の集大成のひとつでもあります。

私の「親」の定義は、血のつながった親子はもちろんですが、血のつながりがなくとも、「子供のことを長期間にわたって自分事」として見てきた大人」を意味します。そのような存在としての「親」は子供にとって重要なアドバイザーとなります。

子供の最重要アドバイザーとしての親に期待されることは、「良き大人」のモデルたらんと努力すること、そして子供が「強み」を生かせる「幸せな」人生を歩めるよう親として全力を尽くすことの二つです。「良き大人」のモデルとしての親を一言でいうと「公私のバランスがとれている」親、つまり「公共心があり、かつ子供のことを自分事として考える」大人ということになります。以下に、子供が「強みを生かせる人」を歩む手助けをする親について簡潔にまとめてみます。

教育では人間の資質や能力を知・徳・体の三つの領域で考えます。個々人が知・徳・体のどれが自分の「強み」かを知り、それを生かすことで「自分も人も幸せにする」存在へと成長していきます。沖縄尚学が、勉強以外に空手やボランテアなど様々な活動を必修化している目的のひとつは、一人一人の生徒が自分の知・徳・体の「強み」を知り、比較できる環境を提供するためです。子供が生まれてから共に過ごしてきた大人としての親に期待されるのは、自分の子供は頭の「強み」を使う仕事に向いているのか、心の「強み」を使う仕事に向いているのか、身体「強み」や手先の器用さを使う仕事に向いているのかの判断です。もうひとつ重要なのは、子供が希望する職業あるいは子供に向くと思われる職業が要求する知・徳・体のレベルについての勉強です。どの仕事でも一定以上の知・徳・体が必要ですが、職種によってその程度が異なります。子供の「強み」と仕事が求める「強み」を上手くマッチングできれば、自分の「強み」を生かせる職業へとつながる大学進学、つまり、自己実現と社会貢献を両立できる人生へと歩みだすことができます。

親を補完する存在である担任や部活顧問の先生などの「見立て」も参考にしてください。小学校、中学校、高校と学年が上がっていくにつれ、子供の生活に占める学校生活の割合が高まり、親と過ごす時間よりも学校で過ごす時間のほうが長くなります。親には見えない子供の強みがあっても不思議ではありません。学校生活で「親」のように子供を見ているのが教師です。ですから親の「見立て」と教師の「見立て」をふまえるより理想的なアドバイスができます。

「親業」は親であることが唯一の「採用基準」であり、かつ、人間が営む最もやりがいのある仕事です。親とその「助手」である教師が力を合わせて「親業」を果たすべく努力すれば、子供たちもしっかり育つものと確信しています。

第2回 SUMMER ENGLISH PROGRAM(SEP)に参加して

比嘉 悠馬 (1の6)

留学に来て最初の一週間は授業や午後のアクティビティについていくのがきつかったが次第に慣れていった。特に午前中の授業ではつきり文法などを勉強するのかと思いきや環境問題やゴミ分別のことを学び驚いた。意見文やグラフ作成は、沖尚でも取り上げている单元なのでスムーズにこなすことができた。ワシントン州立大学最後の1週間の授業ではクラスごとにミュージックビデオ撮影と班ごとにそれぞれの課題(自分の班は桃太郎の英訳)に取り掛かり毎日充実していた。

午後は登山や博物館見学、消防署見学などに行った。中でも一番印象に残ったのは昆虫博物館だ、なぜなら色々な虫の標本を見るだけでなく実際にとても珍しい虫に触れることができたことと、昆虫だけでなく節足動物や軟体動物なども取り扱っていたからである。いつもテレビ画面や図鑑でしか見ることができなかったものが、目の前で観ることができたので興奮を隠すことができなかった。

27日にシアトルに移動してからは引率者から「財布を掏られないように」や「物乞いがいても無視すること」などと説明を受けた。最初は本当に物乞いなんかいのか?などと疑っていたが、バスから降りたら看板などに「Help me」や「Give me some money」と書いて掲げている人がいてとてもびっくりした。

パイクスプレイスではスターバックス一号店やとても大きい繁華街などを歩いて回った。その後は、沖縄のセルラースタジアムと比にならないほど大きな野球場でマリナーズ対タイガーズの試合を観た。試合の結果はマリナーズのサヨナラ勝ちでとても盛り上がった。

もし、親がこの留学プログラムを僕に提案してくれていなかったら、このような素晴らしい経験ができなかった。心から感謝しています。



新任教員 &

事務局



二の三副担任(理科)
上原 奈々

初めまして、高校の理科で物理を担当しております上原奈々です。高校二年三組がHRクラスになります。生まれも育ちも沖縄で、映画を見ることそして食べるのが大好きです。中高ともに沖縄尚学に通い、琉球大学理学部物理系を今年の春に卒業いたしました。沖尚の先生方から得たものを思い出したとき、私自身も、母校で物理を苦手としている後輩をサポートし、楽しいことや悩みなどを共有していききたいと思い、教員となつて再び戻ることを決めました。生徒と一丸となつて頑張つて参りますので、どうぞ宜しくお願い致します。



(国語)
真久田 加奈

令和元年という日本の歴史においても節目であるこの佳き年にご縁があり、沖縄尚学高等学校の国語科の一員として迎え入れていただき、大変喜ばしく思います。初めてのことで、国語科の先生方をはじめ、たくさんの先生方に助けていただきながら毎日を通して、人生を豊かにする教養を身に付けてもらえるよう頑張りますので、よろしくお願いたします。



(社会科)
宮崎 佳名子

本年度から国際バカロレアコースでHistory(日本語)の授業を担当することになりました。宮崎佳名子です。以前は琉球大学でアメリカと日本の経済政策について教えていました。沖尚生の好奇心と探究心を羅針盤にして、生徒一人ひとりに向き合いコミュニケーションを十分にとりながら、生徒の皆さんが楽しく自ら学ぶ授業となるように、日々最善を尽くしていきたいと思つています。どうぞよろしくお願いたします。



高校三年生
中員 留生 日本語担当
武部 和子

今年度四月より、中国人留学生の日本語を担当することになりました。授業中に生徒から質問を受けるたび、日本語を生徒に教えることは、「日本語を日本人として新たに学ぶことである」と実感する毎日です。これからの日々、飛び立つような気持ちの日もあると思いますが、どのような日にも生徒とともに上を向いて歩いていきたいと思つております。



沖尚グローバル
プロジェクト・アドバイザー
アン ドロワイツシュ
シャハットゥ

沖尚は私の誇りです。沖尚職員は丸となつて生徒の成功のために全力で取り組んでいます。私は教えられることが大好きで、生徒の夢を叶えられるよう手助け出来る事が嬉しいのです。沖尚に来るまではワシントン州立大学で十五年以上ESLインストラクターおよび国際プログラムのコーディネーターをしていました。その前は、二〇〇四年から二〇〇六年まで佐賀



事務局
前粟蔵 彩乃

県、福岡県で働いていました。私は沖尚グローバル・プロジェクト・アドバイザーとして生徒が留学の良さを理解してもらえよう手助けしたいです。沖尚に来てわずか二週間ですが私の生活は大きく変わり、生徒の大学進学及び就職に関する内容もかなり考えるようになりました。沖尚生の明るい未来に貢献できる事を心から楽しみにしています。



事務局
上原 星加

こんにちは！事務局の一員として加わりました前粟蔵彩乃です！沖尚に来て早七か月！事務局の先輩方に支えられ、先生方、生徒さん達と関わりのなからいつの間にか、過るついでに強くなる事が多いです。不慣れなことも多く大変ですが、得たものを少しずつ自分の力にして、より成長していけたら、と思つています。積極的に皆さんと関わっていきたく思つていますので、今後とも是非よろしくお願致します！！

今年、新採用されました上原です。お隣の沖繩尚学を三月に卒業して、この沖繩尚学高等学校附属中学校に勤めさせて頂きました。毎日ミスの連続ですが、とても暖かい職場で楽しいです。私の出勤一日目が入学式なので、現在の中学一年生と同じ日数を過ごして、今年、一年生と同様のお顔にお名前、中学と高校のクラス等から少しづつ覚えることに奮闘中です。先生方や事務局の皆様は、新人の自分もあいさつや声掛けをして頂くことが、とても嬉しい事です。一日一日を大切に勤めさせて頂きたいと思つています。

暖かみ・厳しさ・知性あふれる学舎

生徒会会長 比嘉 丈偉 (二の二)

皆さん、こんにちは。この度沖繩尚学高校の生徒会長になりました比嘉丈偉です。僕はこの沖繩尚学高校をもっと活気のある、生徒が通つて楽しいと思えるような学校作りを目指したいと思つています。本校のモットーにあるように、「怖れず・侮らず・気負わず」、「暖かみ・厳しさ・知性」を身につけた生徒会長を実践して、新生徒会メンバーと共に、これから行われる沢山の行事を通してもっと本校を盛り上げていこうと思つています。一年間よろしくお願いたします。

令和元年度生徒会役員



- | | | | | | | | | | | |
|--------|----------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|-----|-----|-----|
| 上段、左から | 執行部 1年3組 渡慶敷 叶 | 執行部 1年8組 原 教 | 執行部 2年8組 藤 利 | 執行部 2年3組 齋 侑 | 執行部 1年8組 平 大 | 執行部 1年8組 大 上 | 執行部 1年7組 吉 健 | | | |
| 下段、左から | 執行部 2年1組 湖 城 | 計 2年3組 宜 保 | 副 2年3組 仲 比 | 副 2年7組 比 仲 | 副 1年8組 加 金 | 記 2年6組 加 金 | 執行部 佑 希 | 南 馬 | 偉 心 | 月 莉 |

令和元年度 PTA役員紹介



役員
 会長 樋口 泰子
 副会長 1学年 小山 幹太 銘苅 佐織
 2学年 南 和洋 牧田 直子
 3学年 金城 仁 名幸万里子
 幹事 石井 淳 (教頭)

1学年 委員長 吉田 正
 副委員長 松島みゆき
2学年 委員長 池谷小百合
 副委員長 安座間智美
3学年 委員長 桃原奈津子
 副委員長 浦崎 優子

総務部 部長 安座間智美
 副部長 内田 りさ
施設部 部長 比嘉 秋子
 副部長 木村 香弥
文化教養部 部長 石垣 靖子
 副部長 鴨澤 眞夫
保健体育部 部長 宮里 香
 副部長 宮良 長敏
生徒指導部 部長 譜久原直人
 副部長 伊佐千代美

第六十二回全国高等学校PTA連合大会



京都大会に参加して
 副会長 名幸 万里子



今回の大会は古都京都。見渡せばみどりの深い山、鴨川には川床のある店が並び、景観を守るための色々な工夫をしている街並みに感動を覚えました。高層ビルがないので空が近く感じます。
 全体の参加者は一万人以上。沖縄からは二、三〇人の参加となり、全国で十五番目に参加者が多い県だったそうです。
 分科会と全大会で、変わりゆく社会「Society5.0」に対応するために培う力について学ぶことが出来ました。
 「Society5.0」とは仮想空間と現実空間を高度に融合させたシステムにより経済発展と社会課題の解決を両立する新たな未来社会であり、「超スマート社会」とも言われます。
 急激な変化に対応するには教育自体が進化していく必要があります。企業側も社会に対応出来るような教育を学校側に求めています。
 講演を聞いてみると、沖尚では既にそのような教育にシフトをしていて、何も目新しいことではないと感じました。人間力を育てる沖尚で学んだことを、卒業してからも継続していけば、この先変化する社会でも十分に活躍できるのではないかと思います。

甲子園は、夢を叶える舞台



1年体育コース 保護者
 木場 智子

小さい頃からの夢だった甲子園。いざ決まると、自分達だけの夢だったはずの甲子園は、沖縄の代表として沢山の人の思いを背負って、みんなの夢を叶える舞台への一歩だという事に気付かされた。

炎天の下、立っただけでも目眩がするようなグラウンドで丁寧の小石を拾い、限界まで走り抜き、そして練習後も入念な整備をしてから帰宅する子供達。皆様が応援してくれただけでは、疲れ果てて帰宅した後、泥だらけのユニフォームを真っ白になるまで手洗いし、道具を磨くなど練習外の努力も沢山積上げてきた。

それを支える親達も、体作りを考えて大盛り弁当を作って送り迎えし、怪我なく全力を出される様にと波上宮に参拝、寄り添えない分思いを込めて御守を手作りし、沢山の方に応援して頂ける様にとグッズ作り、子供達が安全にプレイ出来る様に定期



新城孝幸さん

那覇地区高等学校 PTA連合会より
 多年にわたる活動が認められました。
 おめでとうございます。

表彰

的に草刈りもする。まさに監督を先頭にチーム一丸で甲子園出場に向けて突き進んできた。

そして掴んだ念願の甲子園への切符。それは破れていった62校の同じように頑張ってきたチームの思いと努力を背負う事でもあった。試合が終わった後に行なわれるスタンド間でのエールの交換、グラウンドの外で贈られる折り鶴等と共に込められた激励と涙。自分の夢が大勢の夢へと変わっていくのが甲子園という舞台だ。どうぞ、そんなグラウンド以外の選手達のスポットの当たらない部分にも思いを馳せて、勝敗の結果だけではなくこれからも高校野球の応援を宜しくお願い致します。



日本を背負って

宮城杏優菜 (三の二三)

私は大阪で四月に開催された全日本カデ体重別選手権大会（十七歳以下）で優勝することができました。そのお陰で国際ポーランドカデ大会・世界カデ選手権大会の切符がもらえ、日本を背負い、初めての国際大会に出場しました。

五月に国際ポーランドカデ大会があり、初めての海外で楽しみもあったが、日本を背負うという大きな不安もっていました。同時に、減量もあったため体重管理をするのに、気を使っていました。体重測定の際にみた外国人選手は日本選手と体つきが違い、緊張しているのにさらに緊張が重なった。

そして私の試合の日が来た。初めての国際大会、初めて外人選手と組む、力強いのかな、大丈夫かな、とても不安を感じていました。そんな中挑む一回戦、組んだ瞬間、日本選手との柔道スタイルの相違に気づいた。とても投げづらいし、中途半端に技をかけると関節技、絞め技がきてしまう。少し焦りもあり投げることはできなかったが、隙を狙い絞め技で一本をとりました。一回戦が終わると、緊張・不安が何もなかったかのようにさらっとなくなり、次の試合からは、落ち着いて臨むことができ、決勝進出を決めました。

ついに、決勝。相手も勝ち上がってきた強い選手で、背も高かったです。「ここまで来たからには優勝したい」と気持ちはとても強かった。その試合は背負い投げで一本を決め、全試合オール一本で優勝を決めることができました。表彰台に上がり、初めて、日本の国歌を歌うことができました。とても嬉しかったです。ホテルに帰り携帯を見ると「おめでとう」「中継見てたよ、すごい」と、色々な人からの祝福メール。とても嬉しく、「ここまで頑張ってきた良かった、また頑張りたい」と強く思いました。

初めての海外で気づいた事、学んだ事が多くありました。泊まったホテルの食事の野菜には、死んでる虫がいて、見たときは本当にびっくりしました。日本とは違うなと思って、日本は平和だなんて気づかされました。海外の食事だけでは物足りない、と日本食を持参したが、レンジや沸騰したお湯がなく、



宮城杏優菜 (左から2人目)

食えることができませんでした。空気も綺麗ではなく、楽しかったけど、日本食と日本の空気がとても恋しかったです。外国人選手はフレンドリーで話しかけてくる。英語が苦手な私は、どうにか片言で話すことはできたけど、もっと英語を学ばべきだと気付かされました。柔道以外にも色々な面で学ぶことができました。貴重な経験になりました。

高2 研修旅行 有意義な時間を過ごせました！



高校2年学年主任
宮城 康二

6月9日～6月15日、毎年恒例の高校2年研修旅行が実施されました。今年度はフィンランドコースが廃止されましたが、アメリカコースと上海コースが新設され、合計7コースに292名の生徒が参加しました。生徒から集めた各コースの簡単な感想を下記に記載します。

- ①アメリカコース…飛行機の遅れなどトラブルはあったが、大学研修でアメリカの大学のことを色々知ることができたことや、ボウリングを通して異文化交流できたことが良かった。
- ②カナダコース…ホストファミリーや大学生バディーのおかげでカナダの文化、生活が理解できた。
- ③オーストラリアコース…ロビナ高校との交流が一番の思い出です。あんなに短い時間で仲良くなれたという驚きと嬉しさがあった。
- ④シンガポールコース…マレーシアでのホームビジットやB&Sの時間が特に思い出に残っています。
- ⑤台湾コース…新民高級中学との交流会が楽しかった。また、夜市に行くことができて良かった。
- ⑥九州コース…APUで英語を使つての留学生へのアンケートが楽しかった。自主研修が多く、安心安全。
- ⑦上海コース…南京路・豫園で中国の文化や人々に触れ、中国について知ることができた。上海ディズニー最高だった。

上記の通り、すべてのコースで有意義な時間を過ごすことができました。現地で言葉に不自由する中で「どうにかする力」を養うことができたと話す生徒がいたことが私の中で特に印象に残りました。研修旅行にご尽力下さったすべての皆様に、心より感謝申し上げます。



①アメリカコース



②カナダコース



③オーストラリアコース



④シンガポールコース



⑤台湾コース



⑥九州コース

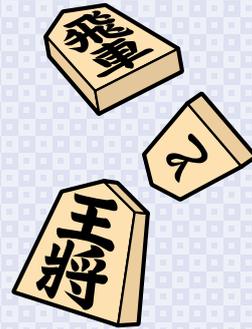


⑦上海コース

第五十五回全国高等学校 将棋選手権大会に参加して



鴨澤 阿覧
(101)



夏休みが始まったばかりの頃、僕たち将棋部の三人は、佐賀で行われた全国大会に出場しました。三人とも将棋を本格的に始めたのは中学からで、副将の津波古貴流君は二段、三将の比嘉航君は三級を持っていきます。県予選の決勝戦では自分は負けましたが、仲間が勝ってくれたので出場権を勝ち取ることができました。

全国でも、予選は抜けるだろうと思ってました。先日行われた中学の全国大会では、道場の後輩たちが結構勝っていたし、僕たちもそこそこ勝てるのでは、と考えていたのです。しかし、結果は一勝三敗、予選落ちで終わってしまいました。

一回戦では僕だけが勝つことができたので、自分の力が全国に通じたのかと感じましたが、二回戦では見たこともない戦型にされて惨敗。続く三回戦四回戦でも、善戦しましたが負けてしまいました。また、個人戦では、沖縄でもトップクラスの実力を持つ知人が、決勝トーナメント一回戦で負けていたので、やっぱり全国のレベルは高いなあ、と感じました。

でも、僕たちはまだ一年生です。四回戦では、仲間が勝ってくれて団体戦一勝を取ることができました。来年は、さらにチームのレベルを上げて、また全国大会に戻って来たいと思います。

何事にも代え難い経験



大東文化大学
文学部書道学科
たかと
山田 天斗
(31期卒)



書を通じて社会貢献や人間育成をしてみたいという思いから教師を志し、この度本校にて書道の科目で教育実習を受け入れてもらうことになった。

専門性が先行して重視されそうな芸術科目であるが、この教科は、情操教育的観点から、如何に生徒の感情や情緒と向き合い、個性や想像力を引き出した人間作りを行うことができるのか、この一点にのみ本質が集約され、枢軸が置かれていると考えている。故に技術の向上や見識の深化よりも先に、書を楽しんでもらうこと、生活の中で活かせるようにすることを最大の目標としなければならない。その自覚やプライドを持って、授業で体現できるよう努めたが、そこには計り知れない経験値や準備が必要であり、他に追従を許さない書道への情熱が不可欠なのだ改めて実感させられた。また、教師の価値観を押し付けることなく、専門性を如何に生徒目線のものへと咀嚼して、理解してもらうのか。何より、教育現場においては教師の理想や自己満足は不要で、生徒のやりがいや達成感、成功体験のみが求められる、というところで壁にぶつかれることも幾度となくあったのだが、生徒は教師が持っている熱意の量だけ返してくれるし、教えた分だけ成長してくれるもので、やりがいも同時に感じる事ができた。

最終的には、指導教官の授業から得たエキスを自らのやり方に巧くリンクさせ、一方ではなく多様な観点から指導案の作成を繰り返し行い、実践できたので、生徒に興味を持つってもらうような効果的な授業を展開できたと思う。

始終緊張していた私に対しても親身に天真爛漫に接してくれた生徒の皆さん。そして、教育現場の楽しさを教えてくださった一学年の先生方はじめ全職員の皆さまに感謝したい。

沖尚での実習は私にとって何事にも代え難い貴重な経験であり、教師への夢をより一層強固なものへとしてくれた。今後とも書道の研究に励みながらひたすら精進していきたい。

令和元年度 表彰者一覧 4月～9月

文化活動

実用英語技能検定(学校部門)	平成30年度 奨励賞	新垣美南海 (3の11)	B級3位	比嘉 航 (1の5)
実用英語技能検定(個人部門)	平成30年度 特別賞	新垣美南海 (3の11)	S級3勝	鴨澤 阿覧 (1の1)
那覇市子ども会育成連絡協議会	平成30年度			
(★那覇小学校 和太鼓クラブ『和楽美太鼓』)	表彰	島崎さくら (1の2)		
第43回沖縄県高等学校文化連盟囲碁将棋夏季大会				
男子認定戦	敢闘賞	東内原 悠 (1の1)		
女子団体	3位	諸葛 清愛 (2の4)		
男子団体	優勝	鴨澤 阿覧 (1の1)		
第九回将棋アマチュア銀河戦、全国ケーブルテレビ局選抜将棋選手権大会、沖縄ケーブルネットワーク将棋大会	3位	比嘉 航 (1の5)		
朝日アマチュア将棋名人戦沖縄大会	S級優勝	鴨澤 阿覧 (1の1)		
OCN杯アマ銀河戦将棋大会	A級優勝	津波古貴琉 (1の2)		
第41回朝日アマ名人戦将棋大会				
公益社団法人 沖縄県青少年育成県民会議				
善行青少年の部(★ボーイスカウト)	表彰	喜友名孝範 (2の5)		
第21回全沖縄高等学校英語スキットコンテスト				
優秀賞		垣花 タイラー真輝 (1の9)		三浦 ミミ (1の9)
				岸前莉愛来 (音響) (1の9)
第54回全沖縄珠算選手権大会 高校生以上の部				
個人総合	3位	嘉陽司英菜 (1の4)	読上算	2位
個人総合	3位	久貝 恵真 (1の4)	フラッシュ暗算	2位
個人総合	3位	岸前莉愛来 (1の9)	フラッシュ暗算	2位
団体総合	3位	久貝 恵真 (1の4)		
第86回NHK全国学校音楽コンクール沖縄県大会				
個人総合	3位	前田 叡二 (2の6)	フラッシュ暗算	2位
団体総合	2位	新崎 一帆 (2の5)		2位
				銀賞

スポーツ活動

沖縄県高等学校総合体育大会	空手道競技	女子個人組手	3位	嘉数 萌乃 (3の1)
		女子総合	2位	女子
		女子団体組手	優勝	女子
第101回全国高校野球選手権 沖縄大会			優勝	
令和元年度沖縄県高等学校総合体育大会	テニス競技	個人シングルス	優勝	3位
団体優勝・個人	優勝	平林 夏帆 (3の13)		
個人シングルス	2位	松本 祐華 (2の10)		
団体優勝・個人	優勝	山本 未来 (2の10)		
個人シングルス	3位	高岡 鈴蘭 (2の10)		
団体優勝・個人	優勝	藤永 笑子 (2の10)		
個人シングルス	3位	倉岡 彩夏 (1の10)		
第46回九州ジュニアテニス選手権大会				
18歳以下シングルス	2位	高岡 鈴蘭 (2の10)		
16歳以下シングルス	4位	伊賀上瑛穂 (1の10)		
令和元年度全九州高等学校体育大会	第54回全九州高等学校テニス競技大会	個人ダブルス	2位	山本 未来 (2の10)
個人ダブルス	3位	高岡 鈴蘭 (2の10)		
第73回九州毎日少年少女テニス大会				
18以下シングルス	2位	松本 祐華 (2の10)		
18以下ダブルス	優勝	高岡 鈴蘭 (2の10)		
18以下ダブルス	2位	山本 未来 (2の10)		
18以下ダブルス	2位	藤永 笑子 (2の10)		
第70回沖縄県陸上競技選手権大会	一般男子走幅跳	7位	手登根永心 (2の1)	
第64回沖縄県高校総合体育大会	陸上競技(九州大会出場者)			
男子走高跳	3位	山森 翔琉 (3の11)		
男子走幅跳	2位	手登根永心 (2の1)		
女子800m	5位	平安山佑乃 (3の1)		
女子4×100mR	6位	森 優花 (3の5)		
玉城 美空 (3の8)		名渡山 サティーパー輝 (2の4)		
女子4×400mR	5位	森 優花 (3の5)		
玉城 美空 (3の8)		名渡山 サティーパー輝 (2の4)		
第34回沖縄県高校秋季陸上競技大会				
男子走幅跳	2位	手登根永心 (2の1)		
男子4×100mR	6位	儀間 舜介 (1の3)		
比嘉 丈偉 (2の1)		宮城 齊揮 (2の3)		
女子200m	8位	名渡山 サティーパー輝 (2の4)		
女子個人44kg級	優勝	宮城杏優菜 (3の13)		
第35回県新人体育大会	女子柔道選手権大会			
女子団体優勝	優勝	女子柔道部 (2の10)		
女子個人52kg級	優勝	吉田 涼 (3の13)		
女子個人70kg級	優勝	宮里 心菜 (2の10)		
女子個人70kg級	2位	山添 桃花 (3の13)		
女子個人無差別級	優勝	外間 蘭 (3の13)		
女子個人44kg級	優勝	宮城杏優菜 (3の13)		
女子団体優勝	優勝	女子柔道部 (3の13)		
女子個人52kg級	優勝	吉田 涼 (3の13)		
女子個人63kg級	優勝	山添 桃花 (3の13)		
女子個人70kg級	優勝	新崎 愛 (2の10)		
女子個人78kg級	優勝	金城 陽菜 (1の10)		
女子個人78kg超級	優勝	外間 蘭 (3の13)		
全九州高等学校柔道大会				
女子団体優勝	3位	女子柔道部 (3の13)		
女子個人48kg級	3位	宮城杏優菜 (3の13)		
女子個人78kg超級	3位	外間 蘭 (3の13)		
九州ジュニア柔道体重別選手権大会	全国高等学校総合大会	柔道競技		
女子個人52kg級	優勝	吉田 涼 (3の13)		
女子個人48kg級	3位	宮城杏優菜 (3の13)		
女子個人78kg級	3位	外間 蘭 (3の13)		
平成31年度沖縄タイムス杯				
男子団体	優勝	柔道部 (3の13)		
男子個人	-60kg級	知念 航平 (3の13)		
男子個人	-73kg級	川畑 聖風 (3の13)		
男子個人	-100kg級	金城 嘉生 (3の13)		
男子個人	無差別級	照屋 海斗 (2の10)		
沖縄県高等学校総合体育大会				
男子団体	優勝	柔道部 (2の10)		
男子個人	-60kg級	糸数未来斗 (2の10)		
男子個人	-66kg級	大城 盛舟 (3の13)		
男子個人	-73kg級	早川 潤 (2の10)		
男子個人	-81kg級	岸良 武輝 (2の10)		
男子個人	-90kg級	山里 健太 (3の13)		
男子個人	-100kg級	金城 嘉生 (3の13)		
男子個人	+100kg超級	屋田 継心 (3の13)		
全九州高等学校柔道大会				
男子個人	-60kg級	3位	糸数未来斗 (2の10)	
男子個人	+100kg超級	準優勝	屋田 継心 (3の13)	
全国高等学校総合体育大会				
男子個人	-90kg級	3位	山里 健太 (3の13)	

名物先生 No.2 英健先生、育成功労賞おめでとうございます。



野球部監督・社会科 比嘉 公也
野球部部长・体育 大城 英健

私が高校生時代からこれまで長きにわたって野球部部長として支えていただき感謝しています。現在は野球部寮監としても生徒の面倒を見てくださる寮生の父親代わりでもあります。また、普段練習を行っているボールパーク内には、トレーニング場やベンチなどがあり、このように生徒が集中して取り組める環境を整



えていただいたのも先生です。今回第101回全国高校野球選手権大会に出場できました。来年もまた出場できるよう心強いサポートよろしくお願いします。